

## しのばず自然観察会より 2015-08 2015.09.22

### 2015年10月の活動 自然教育園の観察（小雨実施）

と き：10月18日（日）緑の旗が目じるし

集 合：午前10時 自然教育園正門

地下鉄南北線・三田線とも白金台駅より徒歩約10分

またはJR目黒駅より徒歩約12分

持ち物 筆記用具、双眼鏡、弁当、飲み物、雨具、敷物

（弁当は出発時に用意してください。園内には売店なし）

参加費 200円 ほかに入園料310円

（65歳以上または18歳以下の方は年齢証明があれば入園料無料）

科学博物館附属自然教育園の秋を体験しましょう。明治時代から火薬庫にもなったことがある自然教育園ですが、今や都心の自然の原風景を伝える場所です。

### 2015年8月の活動より 不忍池 蓮見 より

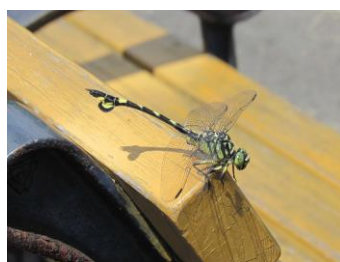
いつものコースで、蓮池を一周、そのあと上野動物園に入り、西園の動物園池を巡り、昼食後、東園にある旧水路跡の地形を観察しました。しのばず自然観察会創立時の会員である腰塚昭温さんが筑波から駆けつけ、豊富な写真を使いながら蓮の解説をしてくださいました。ハスの蕾は午前3時ころから開きはじめるので、花の写真を撮るには早朝がおすすすめ。1つの花は開閉運動を3～4日ほどして咲き終わるとは、タンポポと同じですね。また、花びらがおおよそ30枚以上だと八重咲と呼ぶのだそうです。「古代ハズ」とか「大賀ハス」と呼ばれて全国に拡散している品種は、ほとんどが現代のハスと交雑した種子で広がっているので、厳密には古代の遺伝子だけを持つ個体ではないのです。ふ～うん、なるほど。



ハスの解説をする腰塚さん



開花3日目位のハス



ウチワヤンマ

蓮池めぐりの最中、なんとウチワヤンマがベンチの背もたれにとまっているのを会員がを見つけました。今回久々に見たこのトンボ（ヤンマ）は、不忍池が今のようにハスで覆われる前の1960年代まで、多数生息していました。夏には岸の石垣や水上に突き出した杭には、ヤゴの抜け殻が所狭しとついていました。ウチワヤンマは広い水面に突き出した杭にとまっているのを見るのが常だったので、こんな近くで、しかも岸の上の人通りの中にとまっているのが驚きでした。なお、名前の通り、腹部（しっぽ）の先にある突起が2枚のうちわに見えるのが特徴です。

東園の水路跡にあるツル舎脇で、湿地の石の上に黄色っぽいチョウがとまりました。ツマグロヒョウモンのオスかと思って双眼鏡でよく見ると、なんとコムラサキでした。翅の表面の紫色がくすんで輝きがないのでメスのようです。裏面のクリーム色も目立ちました。上野公園・不忍池ではここ数年で3回目の目撃なので、誰かが毎年放虫したのでなければ上野に定着していると考えられます。

また、そばのシャガの葉には、オオシオカラトンボも見つかりました。シオカラトンボに似ていますが、複眼の色が青ではなく黒に近い茶色です。



コムラサキ



コムラサキ（裏面）



オオシオカラトンボ

## しのばず自然観察会今後の予定

9月22日（火・祝日）通信発送作業と会創立40周年事業の相談（不忍池の水鳥絵ガイドの検討）11時～谷中の作業所にて

10月18日（日）自然教育園 10時正門集合

11月15日（日）明治神宮内苑 10時 JR代々木駅西口改札前集合

12月6日（日）不忍池水鳥観察と調査練習 10時湯島駅根津寄り改札口集合

12月20日（日）不忍池水鳥個体数調査 9時弁天堂横藤棚集合

**しのばず自然観察会** 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: [www.ac.auone-net.jp/~sinobazu/](http://www.ac.auone-net.jp/~sinobazu/)  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

\*\*\*2014年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。\*\*\*